「うしおっ子ランド」 創設に関わって-子育てをする

私は以前より、 定年退職後のライフス

への希望

タイルについて次の3つを希望していま

毎日定刻に出勤するような、 られる生活はもう終わりにしたい。 時間に縛

 \mathcal{O}

デスクワークは終わりにして、 65歳で完全に勤めを辞め、 たいことをしたい。 し、足を運ぶ現場での仕事をしたい。 自分のやり 体を動か

の勤務はあるものの、活動拠点が自宅か 関わる話が舞い込みました。 した。その直後、雲南市が新しく始めた 地区マネージャー」というまちづくりに 2004年3月末、私は定年退職しま 月10日程度

定年退職後のライフスタイル 同年5月から引き受けることにしました。 たしていることから、 ら近く、私が掲げた3つの条件はほぼ満 1年間を区切りに

海潮 地区の紹介

世帯数500戸 くいます。 畑の距離にある松江市で働く地区民も多 っています。 東部に位置し人口1900人余り、 私が住む海潮地区は、 ほとんどが兼業農家で、 弱、 高齢化率3%とな 島根県雲南 20

統文化、 記念物であるカツラの巨木等々歴史と伝 る須我神社、 泉や赤川のホタル、古事記にも載ってい このような環境の中、 地区内の観光資源は豊富で、 名所旧跡に恵まれています。 出雲神楽のほか、 中高齢者が地 国の天然 海潮温 域

1963年から地区内のすべての組織

本化された地区振興会が発足していま

地区振興会により既に一体的な運

営を行っていたので、新市においてもス

地域活動により「2006年度島根県民 に活動しています。 くり」をモットーに生きがいを持って活発 の重要な役割を担い「住みやすい地 いきいき活動奨励賞」を受賞しています。 海潮地区は積極的な 減づ

地 域づくりの組織

まちづくり」を掲げ、公民館単位に地区 地域の活性化をめざして、「市民が主役の 自主組織の立ち上げを推進しています。 海 雲南市は6町村が2004年11月に合 潮地区は合併前の大東町にあり、 新市として誕生しました。 市では



加本 恂 島根県雲南市海潮地区振興会副会長

【かもと しんじ】1944年島根県出身。中国四国農政局を定年退職後の2005年より、雲南市(2004年合併)が 創設した地区マネージャーに5年間携わり、振興会と一 体となって地域づくり事業に取り組む。JA役員、保護 司でもある。

とができました。 ムーズに「地区自主組織」へ移行するこ 地区自主組織では、それぞれ1名ずつ

まず住民が汗を流すこと

動を担わせる制度となっています

地区マネージャーを置いて地域づくり活

など思いつくまま動き出しました。 ーになって、集落との話し合い、 地区における課題や資源の調査をして 2005年5月、私は地区マネージャ 会議の開催、 関係機関との連携 情報の

策として、 りに、U・Iターンを呼びかける大阪交 なっていることがわかりました。 ても、人口減少への対策が大きな課題と みると、他の地区と同じく当地区におい そこで、交流人口の拡大による定住対 田舎暮らし体験ツアーを皮切



田舎暮らし体験ツアーでの笹巻き作り

流会などを開催しました。

行いました。 試行、夜神楽大会の市からの継承なども 養成講座などのソフト事業を推進したほ は、 か、民具資料館の整備、 観光客を増やすための取り組みとして 観光マップ作成・観光ボランティア 特産品の産直

域をめざし、さまざまな活動を展開して サマーウォーキング」も開催。 認定を受け、これに伴って「百選めぐり と「うしおの沢池」が農林水産省による 日本の棚田百選」と「ため池百選」の さらに、地区内にある「山王寺の棚田 元気な地

行政に支援を要請し、協働の活動として 上で、どうしても困難なことについては ことを基本としています。それを守った 地域できることは自らが努力し汗をかく なって取り組みました。 課題の解決を図る姿勢で地区民が一体と にあたっては、まず、地域で話し合い このような課題解決、事業の取り組み

地域の子どもは地域で育てよう うしおっ子ランド」の創設

館等で季節保育所を開設し、農家等の で稲作が中心である当地区においては、 の子育て」がありました。農山村地域 1965年から春・秋の農繁期のみ公民 こうした地域課題の一つに「地域で

田舎暮らし体験ツアーでのそば打ち体験

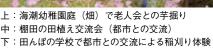
5 ㎞以上離れた保育所への送迎が保護者 大東町へ行いました。 会に幼保一体の保育施設の要望を当時の の大きな負担となっていたので、この機 た。それまで地区内には保育所がなく、 海潮幼稚園が改築されることになりまし なくなり、2004年に閉鎖しました。 子育て事業は保護者のニーズに応えられ 会情勢が変化する中で、季節を限定した 子育て支援を行ってきました。 経済・ ちょうどその頃、 地区内にある町立の

園の中に子育て相談室の設置を要望。 地 するなど開設準備を始めました。 ド」の開設が決まり、 区による預かり保育所 「うしおっ子ラン の理由で対応してもらえませんでした。 育所は厚生労働省の所管で別の組織」 担が大きい」「幼稚園は文部科学省、 そこで、地区としては建設予定の幼稚 それに対し大東町からは「財政上の負 各地の施設を見学









うしおっ子ランド」の運営

雲南市では市民一人ひとりが真に豊かに暮らせる地域社会の実現をめざし、地域振興補助金制度が設けられています。 していまながまちづくり事業を行う場合、 に暮らせる地域社会の実現をめざし、地 に暮らせる地域社会の実現をめざし、地 に暮らせる地域社会の実現をめざし、地

「うしおっ子ランド」の運営にあたっては備品費等の運営経費に補助金を活用するとともに、人件費は補助対象外のため、利用料金収入で不足する部分を地め、利用料金収入で不足する部分を地め、利用料金収入で不足する部分を地方しても自己資金が必要で、2005年から1世帯当たり年間1000円の負担から1世帯当たり年間1000円の負担金の増額となったのです。

域から支えられています。中学校卒業生会からの寄付による図書、地元でとれたブドウ、ミカン、芋などおやつにと届けてくれる住民も数多く、地

「うしおっ子ランド」の開所は幼稚園が終園する14時から18時までの4時間が終園する14時から18時までの4時間が終園する14時から18時までの4時間が終園する14時から18時までの4時間が終園するがよう。

時に、子どもたちにとってはお兄さんおたちは地域のお祭りやイベントにどんどけでなく、外に連れ出して散策もします。けでなく、外に連れ出して散策もします。は、中学生にとって良い機会になるとだまれます。地元中学校での保育体験で生まれます。地元中学校での保育体験では、中学生にとってはおりで保育するだい。

のも「うしおっ子ランド」の特色です。くの支援を受け地域での体験が得られるこのようにボランティアや地域から多ようです。

保育士の確保が重要

とで人数に変動があります。 護者の仕事や用務により日ごと、季節ごています。月極めや一時預かりなど、保ち9人が「うしおっ子ランド」に登録し

保育士の確保は一般の施設でも大変苦めているようですが、当地区も例外でのスタッフ(常時2人、補助者5人)でのスタッフ(常時2人、補助者5人)の確保は容易でなく、地区外や他の市町の確保は容易でなく、地区外や他の市町のがらも勤務してもらっています。待遇面がらも勤務してもらっています。

早期退職されていた公立保育所の所長さんに、厳しい労働条件を承知で勤務していただいたこともあります。全く面識がないところから何度も自宅を訪問し、がないところから何度も自宅を訪問し、「うしおっ子ランド」の構想や仕事内容に理解いただいたことを今でも覚えています。この方には立ち上げから1年間の予定で携わっていただくつもりが、結局子にわたり責任者として気持ちよく勤めていただきました。

姉さんとふれ合えることを楽しんでいる

人の出会いは不思議なもので、珍しい取り組みとして視察を受けるのも、このおす。年度区切りで退職を申し出られたます。年度区切りで退職を申し出られたのはとても残念でしたが、今でも公設ののはとても残念でしたが、今でも公設のいています。

地域活動に関わって

とです。 わって実感しているのは、次のようなこわって実感しているのは、次のようなこ

り前。早朝から出勤、昼食時間もままなは行事・会合が多く、夜間の会合は当たが足りません。と言うのも、土曜日曜にが足りません。と言うのも、土曜日曜に明役時代のように時間に縛られてはいず、時間が足りない」



うしおっ子ランドでの紙芝居

生まれてきます。

る必要があります。 え無理をすることも多く、健康に留意するないことも多いのです。年々業務が増

「課題の対応には、現場が大切.

実態を自分の目で見て、直接現場の人と話し合うことで、解決の方向を見出すことができ、協力や支援が得られます。
私はジャンバーとズック姿で気軽に出かけ、情報収集のため地区内を回っています。公平に物事を取り扱うよう心がけることも必要です。

件である」 「パソコンの習得・事務処理は必須要

には欠かせない」
世代によっては苦手な人も多いですが、
は大かせない
がある。
には欠かせない
は大のです。
の一ドやエクセル、メール、
がいができる
は大のです。
の一ドやエクセル、メール、
がいができる

情報交換も大いに役に立ちます。
ースになれば無料で広範に情報を伝達し
ースになれば無料で広範に情報を伝達し
地域活動においてもマスコミとの連携

育ち、地域資源が見直され、生きがいが材が発掘でき、活動を通してリーダーがよちづくり活動による事業展開は、人人・金・物が動き地域が活性化する」

「求められるのは人間性

定年 退職後の地域活動に現役時代の 定年 退職後の地域活動はリーダー次第で 人間性です。地域活動はリーダー次第で を考を活動が展開できます。地域活動は、 社会実験の場です。白いキャンバスに想 せったけを描ける喜びはそうどこでも味 かえるものではありません。 求められるのは たっというでも かえるものではありません。 おりられるのは たっというでも ないのたけを描ける喜びはそうどこでも ないのたけを描ける喜びはそうどこでも ないのたけを描ける喜びはそうどこでも ないのたけを描ける喜びはそうどこでも ないのたけを描ける喜びはそうどこでも ないのたけを描ける喜びはそうどこでも ないのたけを描ける喜びはそうどこでも ないのたけを描ける喜びはそうどこでも もれるのではありません。 苦しくもあ

地域づくりへの願い

私は定年退職後に地区マネージャーとなったことを発端に、「うしおっ子ランド」の立ち上げをはじめさまざまな地域活動に比べ住んでいる地域に誇りを持って生活している人が増えたように感じました。幅広い仕事と多くの人々との連帯・た。幅広い仕事と多くの人々との連帯・活動を通して、地域へいささかでも貢献できたことに感謝しています。

い、楽しい元気な地域」「住んでみたい・いつまでも住んでいた

心して暮らせる地域」
「住民がきずなを大切に支えあい、安生きがいを持ち、安全に生活できる地域」

そんな地域が私の夢です。 る里を愛し・誇りを持つ」 「歴史・文化、名所・旧跡を学び、ふ